

ビューラーのポータリンク: 荷役能力の最大化

北海道、釧路港



ビューラーのポータリンク 荷役能力の最大化



5年前に釧路港に設置された当社のアンローダー「ポータリンク」は、日本最大となる年間荷上げ量によって、釧路港の荷役容量を大きく押し上げることとなりました。

北海道に位置する戦略的に重要な公共港湾である釧路港は、19世紀後半から運営されており、2011年には国際バルク戦略港湾に選定されました。

日本の食料供給への北海道の役割

北海道地域は日本の食料供給において中心的な役割を果たしており、釧路港は重要な物流拠点として機能しています。日本の牛乳の約50%が北海道で生産されており、釧路で荷下ろしされる多くの穀物原料は地域の畜産農家や酪農家の飼料生産に使用されています。

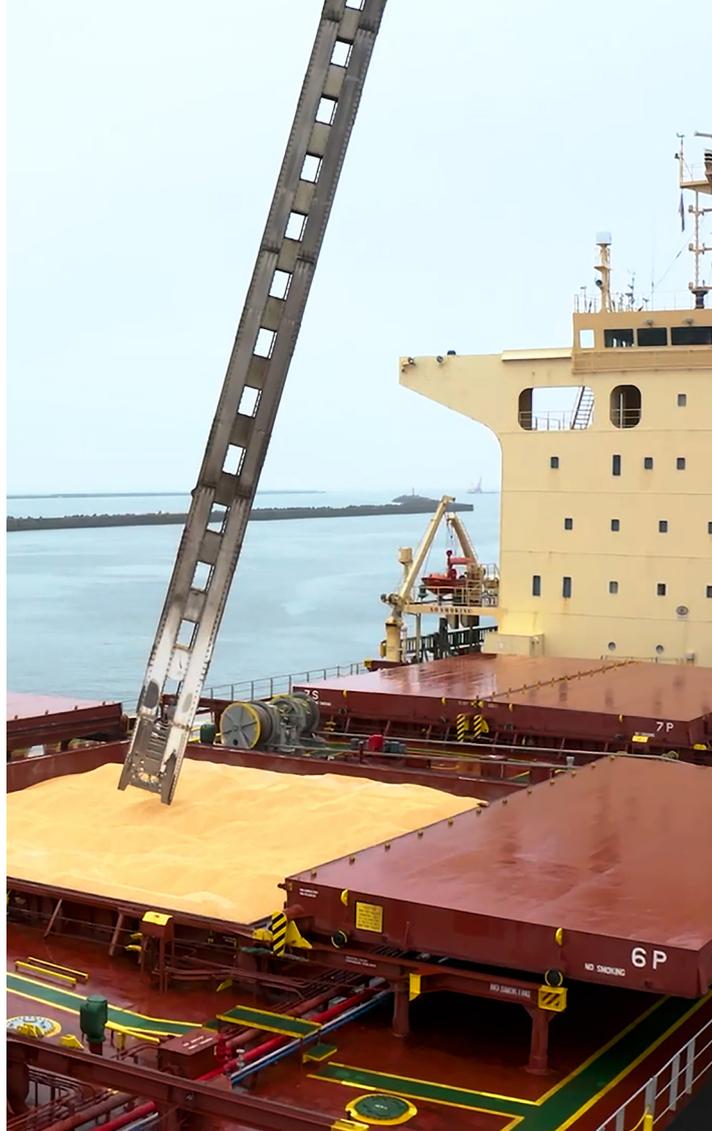
釧路港: 戦略的な穀物物流拠点

釧路港は、2011年に穀物の国際バルク戦略港湾に選定され、西港区第2埠頭の臨海部産業エリアに整備された国際バルク戦略港湾釧路港国際物流ターミナルを中心に、日本の食料供給基地である東北海道一円を背後圏とし、地域の暮らしを支える東北海道の物流拠点港湾として重要な役割を担っています。

安定した運営へのコミットメント

釧路市によって委託された港湾管理者である釧路西港開発埠頭株式会社は、上屋、オープンヤード、荷役機械などの港湾施設の維持管理を行っています。同社は2015年に指定埠頭運営者として認定され、2016年からアンローダーやコンベアベルトなどの設備投資を行ってきました。2019年からは国際物流ターミナルを民間埠頭運営事業者として管理運営しています。

「弊社所有の荷役機械で荷上げするトウモロコシなどの穀物原料は、東北海道の酪農家の皆様へ供給する飼料となるものであり、安定した運営を第一に取り組んでいます。」と、釧路西港開発埠頭株式会社の業務課長である辻岡睦朗氏は説明しています。



2019年から、国際物流ターミナルの管理運営業務を民間埠頭運営事業者として担ってきており、弊社所有の荷役機械で荷上げするトウモロコシなどの穀物原料は、東北海道の酪農家の皆様へ供給する飼料となるものであり、安定した運営を第一に取り組んでいます。

釧路西港開発埠頭株式会社
業務課長
辻岡 睦朗



ポータリンクの設置 厳冬期に荷役能力倍増工事

ビューラーにとって日本の公共施設初 となるアンローダー

2019年、港の荷役能力を増強する決定が下され、市場をリードする当社のポータリンクの納入を依頼されました。これは当社が日本で手がける初めてのアンローダーではありませんが、公共施設として提供された初の事例であり、非常に重要なプロジェクトとなりました。

辻岡氏は次のように説明しています:「従来の2倍となる時間800トンの荷役能力を持つアンローダーを設置し、供用開始以降、トウモロコシのほとんどを新しいアンローダーにて荷上げしています。」

過酷な条件下での設置作業

ポータリンクの設置は、ビューラーのエンジニアたちの創意工夫を試されることとなりました。ただでさえ栈橋上でのポータリンクのような荷役機械の組み立ては困難なうえに、試運転作業は冬の厳寒期に行われました。これは、作業員が氷点下20度にも達する極寒へも対処しなければならないことを意味しました。

「バルク穀物の荷役機械として、大型船舶に対応した荷役能力を有していることから、作業の効率化が図られており、大量の穀物の受入が可能となりました。

また、トランシップ機能により、釧路港を拠点とした他港への輸送も可能になりました。」

釧路西港開発埠頭株式会社
ビューラーアンローダーご担当者
岸本 敏





革新的な事前組立と輸送管理

その解決策は、中国でアンローダーを輸送可能なユニットに事前組立てし、船で釧路まで輸送のうえ、栈橋にて直接最終組立てを行うことでした。この物流上の挑戦はそれだけの価値があり、ポータリンクの導入により荷上げ施設の総荷役能力は毎時1,600トンまで増加しました。新しい埠頭との組み合わせにより、従来のように事前に荷を減らすことなく満載状態の船が初めて入港可能となりました。ポータリンクはまた、毎時800トンのトランシップ能力を持っており、これにより釧路をハブとして他の港へ穀物を輸送することが可能になりました。

高能力と先進的な機能

軌道走行式のポータリンクは、高い能力、優れたチェーンコンベア技術、低エネルギー消費により非常に魅力的な選択肢となりました。しかし、それだけでなく釧路港独自のニーズに合わせたカスタム機能と、当社の卓越したアフターサービスへの評価が、それをより魅力的な選択とした理由です。追加のジブクレーンにより、荷上げを中断することなく15トンの重機を船のハッチに直接吊り入れることができます。また、この地域は地震が懸念されるため、効果的な免震装置も装備されています。

ビューラーのポータリンク プロジェクトデータ

国際的協調体制と現地エキスパートによる支援

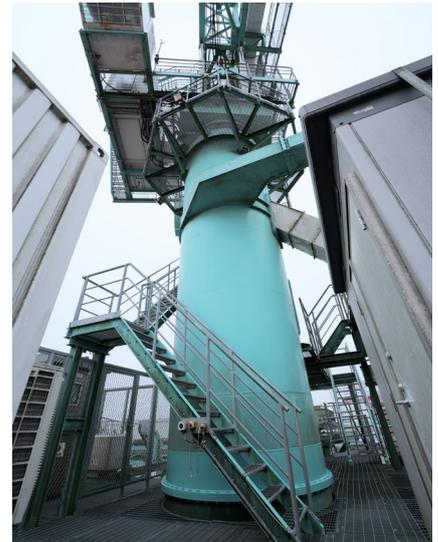
このプロジェクトは、特定のニーズを持つ顧客のための国際協力の成果であり、スイス、ドイツ、日本、および中国のスタッフの貴重な貢献の賜物です。輸送と環境の両面での大きな課題がありましたが、納入は滞りなく行われ、釧路のポータリンクは日本の他のどのアンローダーよりも多くの穀物を荷上げし続けています。

この実績はビューラーの日本における評価を大いに向上させ、釧路西港開発埠頭株式会社との強力なパートナーシップに大きく寄与しました。お客様は厳しい環境下の使用においてポータリンクの性能を評価しており、北海道地域のビューラー社員によるアフターサービスにも好感いただいています。



データ

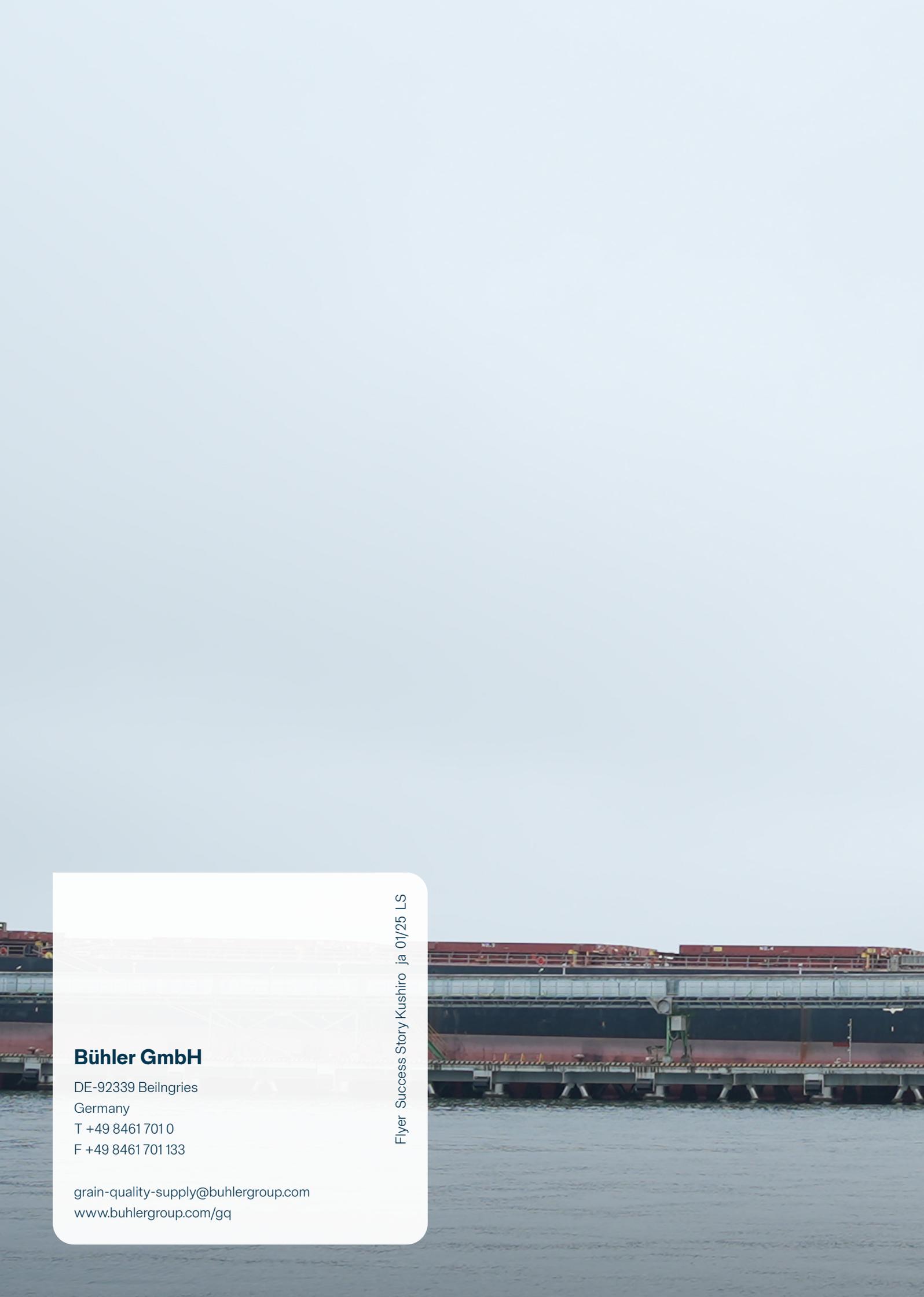
- ・ポータリンク 800-27RK
 - ・荷上げ能力: 800 トン/時
 - ・15トンの重機用ジブクレーン
 - ・船舶サイズ: 最大 80,000 DWT
 - ・荷上げ製品: トウモロコシ、その他の穀物
- ・トランシップ能力: 800トン/時
- ・日本最大となる1台当たりの年間荷上げ量



「アンローダーは成功裏に納品され、運用上大きな課題もなく稼働しており、お客様の安定運用の要求に応え続けています。これらの事例を踏まえて、私たちのアンローダーは日本市場で強固な評価を確立し、ビューラーが現在および将来の顧客の要求に応える最も効率的で先進的なアンローダーを提供できると認められるようになりました。」

ビューラー株式会社
グレインクオリティ&サプライ事業部マネージャ
山内健次





Bühler GmbH

DE-92339 Beilngries

Germany

T +49 8461 701 0

F +49 8461 701 133

grain-quality-supply@buhlergroup.com

www.buhlergroup.com/gq

Flyer Success Story Kushiro ja 01/25 LS